

大切な稲は、

ボクがお守りします。



箱王子[®]

水稻育苗箱用殺虫殺菌剤

粒剤

適用
拡大

高密度は種に
対応

主な水稻病害虫の防除が可能!!



いもち病



イネミズゾウムシ



イネドロオイムシ



セジロウンカ



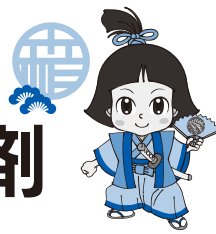
コブノメイガ



フタオビコヤガ



箱王子® 粒剤



- 一 いもち病・主要な水稻害虫に優れた効果
- 二 幅広い使用時期
- 三 湛水直播水稻にも使用可能

適用病害虫および使用方法

有効成分：クロチアニジン…1.5%、スピネトラム…0.50%、イソチアニル…2.0%

作物名	適用病害虫名	使用量	使用時期	本剤の使用回数	使用方法	クロチアニジンを含む農薬の総使用回数	イソチアニルを含む農薬の総使用回数	スピネトラムを含む農薬の総使用回数
湛水直播水稻	いもち病 イネミズゾウムシ イネドロオウムシ ニカメイチュウ、フタオビコヤガ イネツトムシ、キリウジガガンボ	1kg/10a	は種時		は種同時施薬機を用いて土中施用する	4回以内 (は種時までの処理は1回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回以内)	3回以内 (は種時までの処理は1回以内、本田での散布は2回以内)	3回以内 (は種時までの処理は1回以内、本田では2回以内)
稲(箱育苗)	いもち病、白葉枯病 もみ枯細菌病、内穎褐変病 穂枯れ(ごま葉枯病菌) ウンカ類、ツマグロヨコバイ イネミズゾウムシ イネドロオウムシ ニカメイチュウ、フタオビコヤガ コブノメイガ、イネツトムシ	育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	は種前	1回	育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する	4回以内 (移植時までの処理は1回以内、本田での散布、空中散布、無人航空機散布は合計3回以内)	3回以内 (移植時までの処理は1回以内、本田での散布は2回以内)	3回以内 (移植時までの処理は1回以内、本田では2回以内)
		※						
		育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	は種時(覆土前)～ 移植当日		育苗箱の上から均一に散布する			
	イネヒメハモグリバエ	育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	移植3日前～ 移植当日		育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する			
		※						
		育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	は種前		育苗箱の上から均一に散布する			
	苗腐敗症(もみ枯細菌病菌) 苗立枯細菌病	育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	は種前		育苗箱の床土又は覆土に均一に混和する			
		※						
		育苗箱 (30×60×3cm、使用土壌約5ℓ) 1箱当り50g	は種時(覆土前)		育苗箱の上から均一に散布する			
		※						

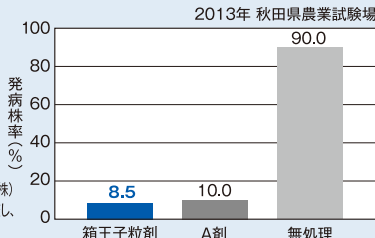
※：高密度には種する場合は1kg/10a [育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ)1箱当り50～100g]

2021年11月現在の登録内容(太字は2021年10月27日適用拡大)

試験成績

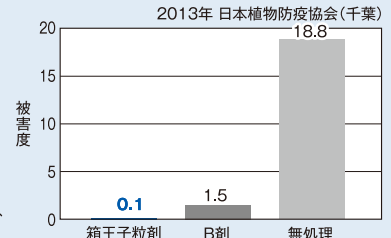
■いもち病(葉いもち)

品 種：ナツミノリ
は 種 日：4月10日
移 植 日：5月16日
処理時期：移植当日
発生状況：葉いもち：中発生(接種)
調 査 日：7月31日(移植76日後)
調査方法：7月31日に計200株(無処理区は計100株)の上位2葉について、株毎に病斑数を調査し、発病株率を算出



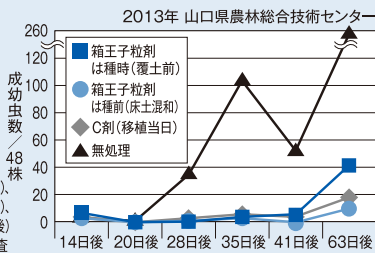
■イネドロオウムシ

品 種：コシヒカリ
は 種 日：4月15日
移 植 日：5月10日
処理時期：は種時覆土前
発生状況：多発生
調 査 日：6月19日(移植40日後)
調査方法：移植40日後(6月19日)に計200株について、葉の被害程度を調査し、被害度を算出



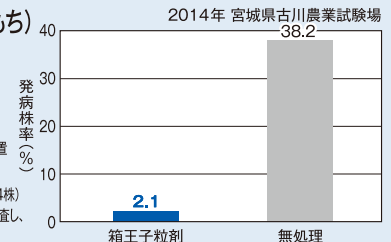
■セジロウンカ

品 種：ヒノヒカリ
は 種 日：5月27日
移 植 日：6月20日
処理時期：[箱王子粒剤]は種時(覆土前)及びは種前(床土混和) [C 剤]移植当日
発生状況：少発生
調 査 日：7月4日(移植14日後)、10日(移植20日後)、18日(移植28日後)、25日(移植35日後)、31日(移植41日後)、8月22日(移植63日後)
調査方法：計48株について、成虫・幼虫数を見取り調査



■[湛水直播]いもち病(葉いもち)

品 種：まなむすめ
は 種 日：5月15日
処理時期：は種時
発生状況：葉いもち：少発生(接種)
接種日・方法：6月27日、各区3か所に伝染源を設置
調 査 日：7月25日(は種71日後)
調査方法：伝染源の周囲の株(48株×3か所、計144株)について、発病株数および総病斑数を調査し、発病株率を算出



注意事項

(効果・薬害等の注意)

- 本剤を床土または覆土に混和する場合、処理後速やかに使用してください。また、本剤を処理した床土または覆土を放置しないでください。
- 育苗箱の上から均一に散布し、葉に付着した薬剤を払い落とし、軽く散水して田植機にかけて移植してください。
- 育苗箱(30×60×3cm、使用土壌約5ℓ)1箱当りに乾粉として200から300g程度を高密度には種する場合は、10a当りの育苗箱数に応じて、本剤の使用量が1kg/10aまでとなるよう、育苗箱1箱当りの薬量を50から100gまでの範囲で調整してください。
- 軟弱徒長苗、むれ苗、移植過期を過ぎた苗等には薬害を生じるおそれがあるので注意してください。
- 本田の整地が不均整な場合は薬害を生じやすいので、代かきをしていねいに行い、移植後田面が露出しないように注意してください。
- いぐさ栽培予定水田では使用しないでください。また、本剤を処理した稲苗を移植した水田ではいぐさを栽培しないでください。

- きく等の他作物に影響を及ぼす場合があるので、薬剤が育苗箱からこぼれ落ちないように散布してください。また、土壌全面に不透水性無孔シートを敷くなど、薬剤処理後の湛水による土壌への浸透をさけてください。
- 本剤の使用に当たっては使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

(安全使用上の注意)

- 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをするともに衣服を交換してください。
- 作業時に着用していた衣服等は他のものとは分けて洗濯してください。
- かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
- 水産動植物(甲殻類)に影響を及ぼすので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 散布後は水管理に注意してください。
- 散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

●使用前にはラベルをよく読んでください。●ラベルの記載以外には使用しないでください。●小児の手の届く所には置かないでください。●空袋・空容器は園場等に放置せず適切に処理してください。

03R11K21H13:ZS

2021年11月作成(全新企画社)

大地のめぐみ、まっすぐ人へ
SCC GROUP

住友化学

〒103-6020 東京都中央区日本橋2丁目7番1号

お客様相談室 0570-058-669

農業支援サイト 農力 <https://www.i-nouryoku.com>

